

# 横丁文化の魅力と可能性とは？

仙台繁華街の路地と店舗群を実測しながら、横丁のこれまでとこれからを考える

## 1. 講義の趣旨

杜の都・仙台の大繁華街には、横丁が残っており、現代の都市開発事業には真似ることができない歴史的な蓄積を感じることができます。

本講義では、狭い路地に小さい店舗が建ち並び、独特の環境を形作っている横丁を、実測しながら、みんなで議論して、その魅力や問題点を考えます。

具体的には、壱式参(いろは)横丁と東一市場を対象とする予定です。

正解があるわけではありません。本研修の目的は、現場で感性を研ぎ澄まし、人と話をしながら、自分なりの思考を深めて、それを発表する能力を高めることです。その過程において、現場に足を運び、必要な情報を収集したり調査したりしてください。仙台に馴染んでください。

## 2. スケジュール(集中)と履修人数

### ① 10月5日(月) 16:45-18:15

青葉山キャンパス人間・環境系 F01教育研究棟 5階 509  
川内キャンパスからの移動時間調整

- ・研修の概要説明
- ・津波被災と対応について基礎講義

### ② 10月19日(月) 16:45-19:45

### ③ 10月26日(月) 16:45-19:45

- ・壱式参横丁、東一市場にて実測
- ・研究室の学生TAが実測指導

### ④ 11月16日(月) 16:45-19:45

青葉山キャンパス人間・環境系 F01教育研究棟 5階 509  
川内キャンパスからの移動時間調整

- ・履修学生の間際発表、全員議論
- ・「横丁文化の魅力と可能性」
- ・ゲスト講師も依頼予定

### ⑤ 12月21日(月) 16:45-18:15

- ・最終発表、各自が考えをまとめてレポート作成、パワポなどを使って発表、全員で議論
- ・一人の持ち時間は、履修人数(上限**10名**)が決まってから決定

### おまけの自己紹介

地域の在り様をデザインする研究をしています。デザインとは、今とは異なる姿を構想して実現する技術です。

地域を少しでも理解するために、現場に行き、そこに身を置き、じっと見たり聞いたり話したりします。机に戻って関連する論文や書籍を読んだり、情報を収集したりします。そして現場に提案したり、住民の方々と一緒に実践したりもします。そしてまた軌道修正です。重要なことは、その過程で、地域住民の方を含む様々な方と意思を交換することです。

そのような地域デザインの方法を、体験してもらえたらと願っています。



窪田亜矢 教授

[ayakubota@tohoku.ac.jp](mailto:ayakubota@tohoku.ac.jp)

建築・社会環境工学科  
都市デザイン分野

